

古學先生 仁齋府君 諱 辨棟 字 源佐

初名 健貞 字 源吉 幼名 源七 寛永十年丁卯七月二十日 生于 堀川 邑 寔 永二年乙酉三月五日 卒 于 年 七十九 葬 于 二尊院 諱 其 子 川 州

配 貞 淵 孺 人 諱 嘉那 諸 言 氏 祖 宗 白

考 元 安 元 安 業 匠 以 橋 仕 子 治 野 可 怡 友

以 妙 十 院 井 止 氏 延 宝 七 年 戊 午 十 月 十 二 日 卒 于 堀 川 邑 寔 永 二 年 乙 酉 三 月 五 日 葬 于 二 尊 院 諱 其 子 川 州

繼 配 慧 慈 孺 人 諱 富 佐 瀨 崎 氏 祖 考 堂 哲

仕 于 園 部 姓 諱 清 加 藤 氏 萬 治 戊 戌 五 月 望 生 寛 保 十 年 十 一 月 十 一 日 歿 壽 八 十 四 葬 二 尊 院 子 男 四 人 女 二 人

長 胤 亮 寛 文 十 年 甲 子 乙 巳 生

女 子 上 正 順 静 寔 永 五 年 戊 子 十 月 十 三 日 終 年 三 十 六 葬 二 尊 院

女 子 下 通 克 山 氏 妙 南 孺 人 寔 永 三 年 丁 未 九 月 十 五 日 終 年 三 十 三 葬 二 尊 院

長 政 亮 寔 元 梅 守 府 君 仕 政 長 英 任 于 備 後 福 山 向 部 屋 終 未 録 寔 永 五 年 戊 子 十 月 十 三 日 終 年 三 十 六 葬 二 尊 院

長 南 亮 介 其 子 自 寔 永 五 年 戊 子 十 月 十 三 日 終 年 三 十 六 葬 二 尊 院

長 守 亮 竹 里 府 君 寔 永 五 年 戊 子 十 月 十 三 日 終 年 三 十 六 葬 二 尊 院

長 堅 才 亮 蘭 嶋 之 孫 甲 戌 年 乙 巳 生 任 于 紀 州 屋 永 永 氏 女 寔 永 五 年 戊 子 十 月 十 三 日 終 年 三 十 六 葬 二 尊 院

家系略草

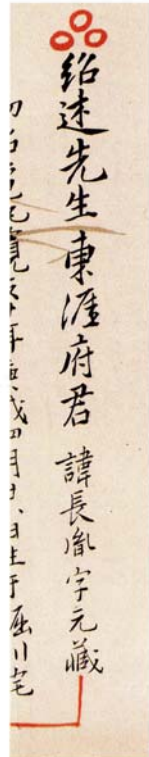
一卷 江戸時代中期写  
縦 18.2 cm 横 238.2 cm

伊藤仁斎は古義堂の祖と呼ばれる江戸時代初期の儒学者である。彼が唱えた古義学は、それまでの朱子学とは異なり、孔子・孟子の古に復し、本来の思想・原義を求める新しい学問であった。その学説を門

弟達に教えようと、仁斎が京都堀川に開いた私塾が古義堂である。

掲出図は、その古義堂に永く伝えられた伊藤家の系図で、仁斎の没（一七〇五年）後、一年以内に仁斎長男の東涯により作成されたもの。最も信頼性の高い伊藤家及び仁斎の伝記資料と言える。

今も堀川通に竹む古義堂の



歴史は、明治三十八年に第六代轡齋によって閉講されるまで二百年以上の永きにわたつたが、この系図では、伊藤家始祖の道慶から仁斎の条までを東涯が記し、五男の蘭嶋、その孫までを東涯の長男東所が書き継いでいる。

また、三代塾主東所は東涯六十一歳のときの子で、七歳で父東涯と別れることとなる。よって蘭嶋は長兄東涯が、東所は叔父蘭嶋が、父親代わりとなり養育したと言われている。

東涯・東所の親子二代が係わつたこの系図には、先祖を敬い学恩に報いんとする思いと、一つの血筋をもつて古義堂を永年継承しようとする深い情念が感じ取れる。

（天理図書館 近江めぐり）

天理図書館のお知らせ Tel:0743-63-9200 <http://www.tcl.gr.jp/>  
 平日（午前9時～午後5時半） 土・日・祝（午前9時～午後4時半）  
 ただし8月6日～20日（夏期休館）および31日は休み  
 （本欄にて紹介した名品の閲覧については係へお尋ねください）